

令和 8年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：医務・医療安全相談担当
 内線：3539 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
S86	異状死死因究明事業費				一般会計	衛生費	医薬費	医務費	行政解剖推進事業費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	死体解剖保存法、死因究明等推進基本法				針路 分野施策	03 0303	介護・医療体制の充実 地域医療体制の充実	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-8
1 事業概要			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 死因究明等推進協議会 192千円 埼玉県と関係団体で構成する死因究明等推進協議会を開催し、埼玉県内の異状死に係る施策の検討と検査や解剖等の体制整備に努める。 イ 異状死死体解剖委託料 246千円 突然死等の事件性は薄いものの死因が明らかでない異状死の解剖の実施を埼玉医科大学、日本大学及び帝京大学病院に委託する。 (2) 事業計画 ア 協議会を年1回開催する。 (ア) 委員報償費等 152千円 (イ) 開催費用 22千円 (ウ) 事務局事務費 18千円 イ 年間を通じ、解剖が必要となった場合において、随時解剖を実施する。 解剖 123千円×2体＝246千円 (3) 事業効果 死因究明の成果は、死者及びその遺族等の権利利益の擁護に資するとともに、疫病の予防・治療を始めとする公衆衛生の向上・増進に資する情報として広く活用されるため、死因究明等の推進は県民が安心して暮らせる社会及び生命が尊重され個人の尊厳が保持される社会の実現に繋がる。 【活動指標(アウトプット)】 ア 行政解剖(承諾解剖)実施 イ 死因究明推進協議会開催 【成果指標(アウトカム)】 正確な死因を究明することにより、安心・安全な生活の確保が図られ、県民が安心して暮らせる社会の実現に繋がる。							
ア 死因究明等推進協議会 192千円 イ 解剖委託料 246千円										
2 事業主体及び負担区分 【厚生労働省】 異状死死因究明支援事業費補助金 (国1/2・県1/2)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人＝1,900千円										

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	438	219						219	0
前年額	438	219						219	

事業内訳書

事業名	異状死死因究明事業費		
単位事業名	死因究明等推進協議会事業費	予算額	192千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	96	0	【厚生労働省】 異状死死因究明支援事業費補助金 補助率 1/2
一般財源	96	0	
合計	192	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	152	0	協議会委員報償費
旅費	10	0	事務局旅費
役務費	8	0	資料等送付代
使用料及び賃借料	22	0	協議会会場費
合計	192	0	

単位事業名	解剖委託料	予算額	246千円
-------	-------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	123	0	【厚生労働省】 異状死死因究明支援事業費補助金 補助率 1/2
一般財源	123	0	
合計	246	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	246	0	解剖委託料
合計	246	0	